

平成 24 年度 予算・定数・機構編成について

◎ 予算・定数・機構編成のポイント

- 平成 24 年度は、市長 3 期目最初の本格的な予算・定数・機構の編成として、「第 3 次札幌新まちづくり計画」と「札幌市行財政改革推進プラン」の実現へ向けた第一歩を踏み出す年
- 「市民力が^{たかぶり}昂り、確かな一歩を実感できる予算」として、「人口減少、超高齢社会の到来を踏まえた取り組み」「依然として厳しい状況にある地域経済への対策」「安全安心に対する市民意識の向上への対応」に配慮
- 予算編成プロセス公開の一層の充実
- 効果的・効率的な執行体制づくりを進めるとともに、原子力災害対策やヒグマ等の出没対応など新たなまちづくりの課題に的確に対応

● 予算総額

(単位：億円、%)

区 分	平成 24 年度	平成 23 年度	比較増減	増減率
一般会計	8,522	8,659 <8,496>	▲137 <26>	▲1.6% <0.3%>
特別会計	3,410	3,237	173	5.3%
企業会計	2,496	2,500	▲4	▲0.2%
合 計	14,428	14,396 <14,233>	32 <195>	0.2% <1.4%>

< >内は、震災関連等の経済貸付（預託金）の減分を、23 年度予算から控除した額の場合である
 詳細は別添「予算の概要」のとおり

● 組織・体制

- 原子力災害対策の検討体制の構築
- ヒグマ等の出没対応の検討体制の構築
- 国際芸術展の開催準備体制の構築
- 下水道施設の整備・維持管理部門の一元化
- （仮称）救急安心センターさっぽろの開設準備体制の構築
- 児童心療センターの設置（静療院児童部門の移管・再編） など

● 職員定数

平成 23 年度職員定数 14,148 人 ⇒ 平成 24 年度職員定数 14,113 人（35 人の定数減）

- 生活保護世帯数増加による増
- 北海道等からの権限移譲に伴う業務増加による増
- 保育需要増加による増
- 路面電車関連検討業務増加による増
- 学校用務員業務効率化による減
- 学校調理業務一部委託化による減
- 北光出張所と東苗穂出張所の統廃合による消防職員の減
- 公用車運転体制見直しによる減 など

《問い合わせ先》

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| ○機構関係：市長政策室 行政改革担当課 | Tel.211-2061 (担当) 米澤、國方 |
| ○定数関係：総務局 職員部 人事課 | Tel.211-2072 (担当) 青山、加茂 |
| ○予算関係：財政局 財政部 財政課 | Tel.211-2212 (担当) 芝井、里 |
| ○総括関係：市長政策室 政策調整課 | Tel.211-2206 (担当) 中田、西村 |